



第318号

# HYOGOニュース

公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会  
〒651-0085 神戸市中央区八幡通4-1-38  
TEL 078-271-0255 FAX 078-271-0256  
E-mail info@hamt.or.jp

編集委員  
鳥居良貴 / 増井 裕 / 小原 望 / 山崎美佳  
小松敏也 / 松田武史 / 真田浩一 / 藤本宏巳

臨床検査情報センター  
URL <http://www.hamt.or.jp>

今月号の内容

- 平成28年度 定時総会開催 ..... 1~2
- 兵臨技 功労賞を受賞して ..... 2~3
- 《行事予定表》 ..... 4~5
- 《賛助会員コラム》・兵庫県健康財団 がん予防功労者表彰を受賞して・《求人情報》 ..... 6~7

## 平成28年度 定時総会開催

### ー平成27年度事業・決算が承認されましたー



東塚会員

平成28年6月5日兵臨技研修センターに於いて定時総会が開催され、審議の結果すべての議案が承認されました。

#### <審議経過>

総会議長に東塚伸一会員（兵庫県予防医学協会）、書記に北秋翔子会員（神戸大学医学部附属病院）が選出され、総会の資格審査では、当日出席者数30名、委任状出席者数332名、議決権行使書提出者数 1,169名、合計1,531名で会員の過半数の出席を得て、定款第4章第17条より総会が成立し、議案審議が開始されました。

#### <第1号議案：平成27年度事業報告>

公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会は、臨床検査を通して県民に良質な医療を提供すること及び臨床検査に関する情報をわかりやすく県民に提供することをモットーとして活動しました。

事業は公益事業を中心とした活動を行いました。行政や各団体との友好な関係を構築し、多くの委員会や協議会にも参加しました。

公益事業においては、県民の健康増進と疾病予防、公衆衛生の向上を目指した市民公開講座やがん検診を促進するPR活動等を展開し、各種の企画や行事に会員の派遣、協力を行いました。精度管理調査事業は、臨床検査の精度保証し、検査データを担保するために県下の施設を対象とした調査及び指導を行いました。また、学術事業は臨床検査技師の資質の向上を目指すもので、会員の学術、技術レベルの向上を図りました。また、他職種を交えた研修会の開催を行うと共に、各協議会との連携研修会、県民参加型体験コーナー等を設けるなど幅広い活動を行いました。

会員相互の共益事業においては、組織地区活動を通じ、会員相互の情報交換と技術や知識の向上を図るとともに会員の意見が技師会活動に反映され、組織の強化の推進に務めました。広報活動の取り組みとして、当会活動を会員及び一般の皆様に関わりやすく伝達するため、各種広報媒体を活用した情報発信、啓発、及び取材活動を行いました。

それぞれの部局が行った事業について報告した。

法人事務局：政府・関連団体等との対応、総会・理事会・



常務理事会・委員会の開催、事務局及び総務関係などを報告。

事業推進局：公益事業（県民に対して公衆衛生の向上及び臨床検査に関する普及啓発を目的とする事業）、精度管理調査事業（臨床検査の標準化調査及び精度管理指導することとで県民に信頼性の高い臨床検査データを提供することを目的とする事業）、学術事業（学術及び技術の振興を目的とする事業）を報告。

組織活動局：会員の資質向上事業（組織強化及び情報交換・共有化事業、新人研修会、渉外事業）、広報事業（当会の活動を県民への広報と機関紙及び会報発行を行い会員相互への情報提供、職業意識の共有化を図るため、各種広報媒体を活用した情報発信と効果的・効率的な啓発活動）など共益活動を中心とした事業を報告。

#### <第2号議案：平成27年度決算報告及び監査報告>

正味財産増減計算書、貸借対照表、財務諸表に対する注記、財産目録、備品目録、収支計算書、収支予算事業別区分経理内訳表（G表）、収支計算書に対する注記について報告。また平成27年度事業活動及び経理について問題がなかったとの監査結果を報告。

#### <第3号議案：平成28・29年度理事及び監事の選任>

平成28・29年度新役員、新監事（4年任期）が承認された。

#### <第4号議案：定款の改定 会員退会処理について>

現行では第3章会員に、入会金及び会費について正会員は総会において別に定める入会金及び会費を納入しなければならないとあり、この支払義務を“2年以上履行しなかったとき”会員資格は喪失すると定められていた。事務手続きの煩雑さ、日臨技では1年であることなどの経緯から審議の結果、“1年以上履行しなかったとき”とする改訂案が承認された。

定時総会のあと表彰式典が行われ、兵臨技功労賞に中村眞佐徳会員（県立がんセンター）、土井真弓会員（川崎病院）、兵臨技学術奨励賞に榎亮会員（兵庫県臨床検査研究所）が受賞されました。続いて、榎亮会員に「輸血機能評価認定（I&A）について」と題して、受賞記念講演をしていただきました。受賞された会員の皆様が今後ますますご活躍されますことをご祈念いたします。

平成28年8月31日より神戸ポートアイランドでIFBLS 2016（第32回世界医学検査学会）、第63回日本臨床検査医学会学術集会、第11回日本臨床検査学教育学会学術大会、第65回日本医学検査学会が同時開催されます。兵庫県臨床検査技師会は日本医学検査学会を担当し準備を進めています。

このように当会の事業が活発に行えるのは、会員の皆さま及び兵庫県をはじめ、医師会等の医療職団体各位の協力のお陰であると深く感謝致しております。今後、ますます良好な関係の向上をお願いし、更に皆様方のご指導、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



榎会員



受賞記念講演

## 兵臨技 功労賞を受賞して

中村 眞佐徳（県立がんセンター）

この度は、兵庫県臨床検査技師会より功労賞をいただき誠に有り難うございます。推挙していただいたことに大変恐縮しております。

輸血研究班の班員として輸血認定技師育成のお世話をさせていただいてから当時の向井会長

や富永会長体制で事業部や渉外担当として勉強させていただきました。その間資料作成や解析など学術班の方々には大変お世話になりました。中でも豊岡市で開催された“のじぎく国体”では飲食の提供に携わる方の検便検査を兵臨技が請け負い、組織部長や微生物班長の協力により研修会の企画や各部署への依頼などスムーズに進み成功裏に終えることが出来ました。知事からは兵臨技に対して感謝状をいただき公益活動の一環としてその後の公益社団法人化へ繋がったかと思います。

兵臨技の活動を通じて兵庫県にも素晴らしい技師が沢山おられることを改めて認識し技師としての誇りを持つようになっていきました。病院の検査室にとどまっていたは見えるものも見えなかったと思います。私も卒業まで一年を切りましたが諸先輩が作り上げたそのタスキを後輩達に委ねたいと思います。

この度は本当に有り難うございました。

## 兵臨技 功労賞を受賞して

土井 真弓 ((医)川崎病院)

この度、兵庫県臨床検査技師会より功労賞を頂きましたことにお礼申し上げますと共に、非常に驚き恐縮している次第です。

就職して数年で生化学部門を任された私は何も理解しておらず、研修会に参加しては日頃の不勉強を棚に上げていろいろ教えて頂きました。平成2年に臨床化学の研究班員として仲間に入れて頂き、言われるがまま動いていたと思います。酵素項目の標準化に向けての活動が多く、現監事の中山さんにキャラバン隊を組むと言われ、兵庫県内の各地域をまわりました。生化学研究班員と一緒に活動できるメンバーで六甲セミナーを立ち上げました。また、精度管理事業として、コントロールサーベイ解析委員もさせて頂き、各施設の総蛋白結果のバラツキに驚き、標準物質の値付けの恐ろしさに気付かされました。

4年間、班員をさせて頂いた後、理事をなさいと言われ事業部、精度管理事業担当となりました。その翌年明けて早々に阪神淡路大震災が起きました。雪御所救護所が設置され、仮設検査室にてドライケミストリー等の機器を使わせて頂き検査開始、精度管理担当として、毎日お昼の休憩時に自転車で走り、ボランティアの皆様説明してコントロール測定して頂きました。大変お世話になりましたボランティアの皆様、メーカーの方々には感謝しかありません。この精度管理結果は「阪神淡路大震災医療支援仮設臨床検査室の精度管理について」として論文発表させて頂きました(『医学検査』45(6) p.1053-1057)。

その後、総務部、学術部を担当させて頂きました。理事役員として各地域に赴き、その地域の方々との横の繋がりができたことが私の財産になっています。

班員から理事の間、本当に会長はじめ理事や班員の皆様、無理難題を聞いて下さった技師会の事務員の方々にまで大変お世話になりました。本当に有り難うございました。

そして、私を育てて下さった技師会に少しでもお役に立ち、恩返しができればと思い、理事推薦委員をさせて頂きました。どしどし若い、特に女性の方が出てきて技師会を盛り上げて頂ければ幸いです。また、技師会が益々繁栄、発展されることを願っています。こんな私が功労賞を頂けるなんて恥ずかしいという思いでいっぱいですが、残された技師人生をもっと後輩達のために頑張れという叱咤激励のエールと思い受けさせて頂きました。

この度は、本当に有り難うございました。



賛助会員

ヨロム [51]

KANYAKU CORPORATION

(株) 関薬

## 名付け親は、お客様です

小林 芳樹 (神戸営業所所長)

平素は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。

当社は臨床検査薬、検査機器、器材を中心に販売する総合専門商社です。創立は昭和31年7月27日、関西薬材(株)という社名でした。私が入社した頃は旧社名の時でした。当時から、お客さまから親しく「関薬さん」という愛称で呼んで頂いておりました。

そんな訳で平成7年6月に新社名の(株)関薬になった時も特に違和感を感じませんでした。当時の思い出では、新人で知識のない私に熱く検査の基礎や検査の手技などを教えて下さった諸先生や、お昼時になると一緒にお弁当を食べて下さったお客さまの事が昨日のように懐かしく思い出されます。そんな(株)関薬も今年、お蔭さまをもちまして創業60周年を迎えることができました。これも偏にお客様と仕入先メーカー様の皆さまの変わらぬ、ご支援の賜物の一語に尽きます。

私共、関薬は臨床検査に関わるすべての製品や企業・大学等で使用されております検査研究用製品についても取扱いさせて頂いております。

お客様から「こんな商品ない?」「ガラス加工してくれん?」「特注で作ってくれへん?」等のご要望に応じて今後の医療の発展に貢献できますよう企業努力してまいります。“顧客数、数千軒のお客さま”と“仕入先、数百社のメーカーの皆様”と共に健全な発展ができますことを願っております。

“ハートフル・カンパニー関薬”を今後共よろしくご指導、ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

最後になりましたが、公益社団法人兵庫県臨床検査技師会の益々のご発展を心からご祈念申し上げます。



神戸営業所

大阪本社

## 兵庫県健康財団 がん予防功労者表彰を受賞して

小松 敏也 (宝塚市立病院)

この度、公益社団法人兵庫県臨床検査技師会(以下、兵臨技)のご推薦で、公益財団法人兵庫県健康財団より平成28年度がん予防功労者表彰を賜りました。このような栄えある賞を拝受し、身に余る光栄と感謝しております。今回の受賞にあたりご推薦頂きました兵臨技の中町会長はじめ役員の方々、ご指導頂きました諸先輩方並びにご配慮お力添え下さいました皆様方に心より御礼申し上げます。

昭和58年に日本細胞検査士、翌々年に国際細胞検査士を取得し当院中央検査室に移籍後、昭和62年には2級臨床病理技術士を取得し、32年間がん診断業務に従事して参りました。その間、兵庫県細胞検査士養成講習会などにも携わらせて頂きましたが、特に近年に至り兵臨技地区委員・広報部情報センター(以下、広報)活動の一環としてがん予防を含む情報発信に傾注して参りま



神戸新聞(2016年6月3日)社会面記事より引用

した。センター活動は兵臨技を広報するための取材が大きな仕事となります。本来であれば取材時着用すべきユニホームですが、私には窮屈で入りません。その結果、私服でカメラ小僧のようにウロチョロしている姿を見かけた方もいらっしゃるかと思います。このように近年、兵臨技活動に遅ればせながら参画させて頂いたことも評価頂いたことと存じます。

もとより「がん予防」と申しまして、予防するにはがんを知ることが不可欠です。思い起こせば、現在に至るまでがんを知るために正確に診断する事ばかり考えてきました。幸いにご指導頂いた多くの臨床医・病理医・細胞診専門医の先生方から色々な検査を経験させて頂くことが出来ました。今では日常検査となった免疫組織化学検査も当時は大半が高価な輸入試薬でした。特異抗体の中には数十万円もする製品もあり、希釈倍率さえも定かでない中1滴を扱うときには緊張したことを今更ながら覚えています。得られた染色結果には技師の知識と技術が物言わず現われました。診断する医師からは「逆に混乱した」「納得して診断できた」など答えは明確でした。このように技師と医師が連携し正確に診断してきた積み重ねが予防に活用できたと思います。がんの特徴や発生機序を知り生活習慣にはじまる予防・定期健診・早期発見へと還元することに努めました。これからもこのような宝物を大切に、仕事としての検査に努めて参ります。

ところで、私は前述致しましたとおり兵臨技の広報を担当させて頂いています。ここではその職責上、受賞式の模様について以下のとおりご報告致したく稿を頂戴致しますことをお許し下さい。

授賞式自体は、今年で16回目となる「健康ひょうご21県民運動推進フォーラム」の一環として兵庫県看護協会にて行われました。壇上には主催者兵庫県健康財団の家森会長・太田理事長、来賓席には井戸兵庫県知事・石川兵庫県議会議長・県議の方々・協賛各社の皆様、一般来場者は約400名でした。表彰はがん予防功労の他、歯科保健・母子保健・健康づくりに貢献した43団体・個人が対象です。同時に健康長寿社会の実現をテーマとした講演も行われ、「70歳を超えると転倒し骨折しやすくなる。50代から運動で筋肉を鍛えることが重要」とし、健康に無関心な割合が5割に上る実情から行政や地域に出来る働きが提案されました。終始満席の状態でした。

最後になりましたが、今日までご指導ご鞭撻頂きました諸先生方、諸先輩方、また職場の方々に深く感謝申し上げます。加えて兵臨技会員の皆様の益々のご活躍を祈念して止みません。有難うございました。



## 求人情報

\*詳細は求人先に各自お問い合わせください。

### ●関西労災病院

交 通：JR立花、阪急武庫之荘 バス10分  
採用条件：嘱託職員  
業務内容：病理検査  
連絡先：06-6416-1221 (総務課 村山)

### ●西宮市医師会診療所 健診部

交 通：JR西ノ宮、阪神西宮、阪急今津駅より徒歩10分  
採用条件：正規職員  
業務内容：人間ドックでの生理機能検査  
連絡先：0798-26-9497 (担当者 清水)

### ●松原メイフラワー病院

交 通：中国道滝野社ICから車で7分、中国道社パーキングエリアから徒歩15分、三宮から自家用車で1時間  
採用条件：正社員(治験コーディネーターとして)  
業務内容：治験検体処理及び治験コーディネーター業務  
連絡先：0795-42-8851  
(総務課係長 萩原正廣)

**お知らせ****(公・社)兵庫県臨床検査技師会からのメールでの案内変更**

兵臨技からのメールでの案内はメール会員を募り配信していましたが、登録者も限られていました。現在、会員管理を日本臨床衛生検査技師会「都道府県技師会専用サイト」で行っています。本システムに会員一斉メールを行う機能が備わりましたので、今後はこの会員一斉メールでお知らせさせていただきます。

なお、配信メールアドレスは各会員で設定をしていただく必要がございますので設定のほどよろしくお願いいたします。

**※メールアドレス設定方法※****1. 日臨技+兵臨技会員**

- 1) 一般社団法人日本臨床衛生検査技師会 ホームページ  
<http://jamtjamtis.jamt.or.jp/Jamtis/Account/Login.aspx>
- 2) 「会員専用ページ」
- 3) 「日本臨床衛生検査技師会 会員専用サイト」 ログイン
- 4) 日臨技会員メニュー 「会員情報変更」
- 5) 基本情報 「メールアドレス1(携帯不可)」に入力してください

**2. 兵臨技のみの会員**

兵臨技事務所 (hamt@portnet.ne.jp) までメールアドレスを送信してください。

**阪神・神戸地区合同施設責任者・連絡者会議****新入会員研修会ならびに施設交流会(新入会員歓迎会)のご案内**

開催日：平成28年8月6日(土) 13:30～17:30

場 所：兵臨技 研修センター 東洋ビル4階

内 容：13:30～14:30 施設責任者・連絡者会議

15:00～17:30 新入会員研修会(新入会員以外の参加も可)

- 1) 会長挨拶
- 2) 日臨技・兵臨技活動の紹介
- 3) 新入会員研修会

「検査前プロセスー採血の基本と患者対応ー」

神前 雅彦 先生(兵庫医科大学病院)

「誰にでも出来る感染対策 ～臨床検査技師が知っておきたいこと～」

吉田 弘之 先生(神戸大学大学院保健学研究科)

参加費：500円(新入会員無料) 点 数：専門20点

なお、新入会員研修会終了後、兵臨技主催施設交流会(新入会員歓迎会)を開催しますので、併せてご参加ください。参加申込方法などの詳細はHP、チラシをご覧ください。